

「ワークシート① 避難マップを作ろう」

学習のねらい：自宅や通学経路からの避難場所と避難ルート、避難中の危険地点を、実際に地図を描いて覚える。

(活用例)

- ・ 登下校の避難訓練、防災タウンウォッチングなどの際に合わせて活用する。
- ・ 家に持ち帰り、家族と相談して記入する（家族への周知も図る）。

(指導上のポイント)

◆本冊「2 学校からの帰り道で大地震が起こったら」で、危険な箇所や危険回避方法について復習させたいうえで、児童に記入させる。

◆各地域の避難場所を各市町防災担当部署などで確認して教える。地域によっては、地震と風水害で避難所が異なっている場合があるので注意する。

※参照：県防災対策部 HP

「避難所・防災マップ」

http://www.bosaimie.jp/resource/1495426761000/X_MIE_ne000

防災ノート(ワークシート①) 小学生(高学年)版

氏名

住所

学年

性別

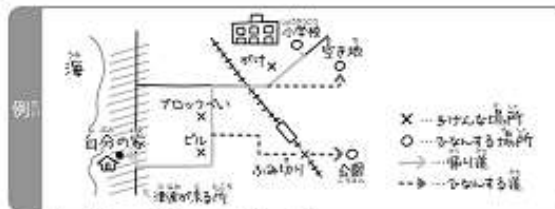
年齢



避難マップを作ろう

学校からあなたの家までの帰り道を描いたり、地図を貼ったりしてください。それから危険な場所があればXをして、何が危険か書きましょう。また、避難する場所に○をして、そこまでの道を描きましょう。

※以下の例を参考に記入させる。



上手くできたら
お家の人に○を
つけてもらおう。



「危険な場所」「避難する場所」の例をあげましょう。
※地震避難マップと台風避難マップは違う場合があります。